

Pets Are Also My Family

- ペットの健康と安心を-

team xxx
和田吉平・西門亮



Agenda

1. World
2. Agenda
3. Problems
4. Concept
5. Flow
6. Contents
7. Future
8. Appendix



World

人間の健康に関心が寄せられているのと同様にペットの健康にも大きな関心が寄せられている。



犬の散歩から健康管理をテクノロジーで可視化する。
アプリ運動のペット・リード「GO」



健康管理できるネコ用トイレ、シャープが開発
IOTを活用



センサーライやコンピュータの小型化により、
連続的な観察を行うことが可能になった。

人間においても、ペットにおいても健康
を観察する上で連続性のあるデータが最
重要なのではないか？

OpenDsign

Problems

共通言語が少ないペットの体調を把握する方法は少ない。

ペットの健康管理
がしたい



ペットは
不調の兆しを
訴えられない



排泄物は
ペットからのSOS



排泄物を
観察してみよう！

Targets

ログ

- 体調の変化速度に気づく
- 獣医師とのコミュニケーションに利用
- DBの形成

簡易診断

- 人間とは違う糞便の状態を分析する手伝い
- 便を写真から分類 - 絵にして可愛く表示
- 緊急時はメールで即通知

Pets All right!

Concept

Petに健康と
安心を

Flow



Contents (abstract)

目的: ペットの状態を排泄物から監視、ロギング。

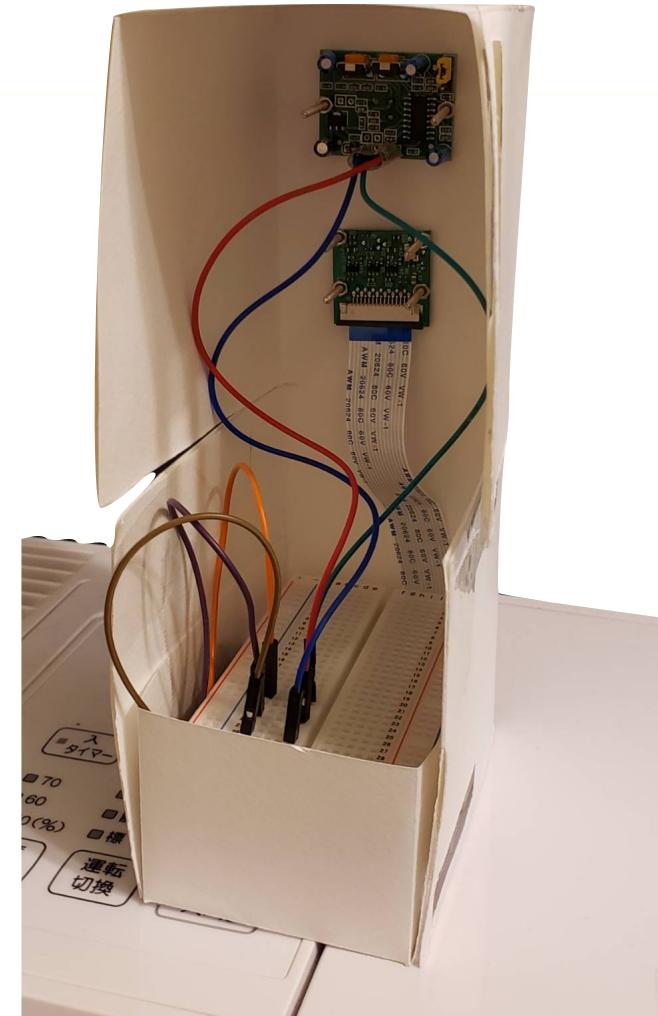
利用物: Raspberry pi3, 人感センサー, カメラ

利用サービス: Azure Custom Vision

対象: Pets(犬)

魅力: Petsの健康状態をよりよく判断できる。

内容: Petsの排泄物を画像分析・ログする。



Future

現状:センサーの反応・写真撮影・Slackへの通知完成

課題:Azureとの連動(コードがあるから簡単に実装できそう。)

教師データの確保

照明環境の平準化

可能性:体調の変化を見せるために、写真をタイムラプス的に表示?

Xiの早急な判断を防止するために、医師と飼い主で見せるデータを変更?

Appendix



作ったのはこれ！



https://github.com/ryo-simon-mf/submit-Practice_of_Open_Design



<https://github.com/kip693/openDesign>
気になったらこれ見てね



OpenDsign